

各委員の項目別評価及び意見等の一覧

資料 3

●医療サービスの向上に向けた取組

項目	仮評価	土岐会長	阪上副会長	相原委員	大江委員	谷田委員
(1) 急性期病院としての機能充実						
①がん医療の充実	A	A 手術件数が減少している病院が多い中、実績を維持しており高く評価する	B 一定の件数は確保できている	B がん連携パスの推進が病院の方針であれば徹底すべき	B 実績を維持できている	B コロナ対応など公立病院としての役割を十分に果たしているのであれば、より高い評価に値する
②救急医療の充実	C	C どの病院も受入れに苦慮しており、応需率の低下は公立病院として厳しく評価せざるを得ない	C 救急を断らざるを得ない理由も理解するが数字を基に判断した	B 応需率の低下等はやむを得ない事情によるものと理解した	B 市全体の搬送件数の減少、コロナ病床満床等やむを得ない事情によるものと理解した	B クラスター発生により応需率が低下したのであれば、その期間以外の応需率を示してほしい
③質の高い医療を提供するための体制・設備の整備	B	B 内視鏡の件数など、実績を維持できている	B 一定の件数は確保できている	B ダヴィンチ件数増加が取組の成果であれば、良いことである	B 実績を維持できている	B 実績を維持できている
(2) 地域医療への貢献						
①地域の医療機関などとの役割分担・連携強化	C	C 実績が下がっている	C やむを得ない面はあるが、実績が下がっている	C やむを得ない面はあるが、実績が下がっている	B 実績が下がっているが、やむを得ない	B 受診控えの影響は避けられない
②地域包括ケアシステムの構築を念頭に置いた取組	C	C 各種加算件数の減少率が患者数の減少率に比べて大きい	C やむを得ない面はあるが、実績が下がっている	C やむを得ない面はあるが、実績が下がっている	B 地域包括ケア病棟をコロナ専用病棟とした判断を高く評価	B コロナ禍での地域の訪問医や訪問看護ステーションとの関わりを示してほしい
③地域の中核病院としての貢献	B	B 実績は下がっているが、一定減少を抑えられていると評価	C やむを得ない面はあるが、実績が下がっている	C やむを得ない面はあるが、実績が下がっている	B 実績が下がっているが、やむを得ない	B 院内での感染対策研修などを実施していたことを評価
④地域に不足する医療機能への対応	A	A 歯科口腔外科の健闘は高く評価できる	B 一定の実績を維持できている	A コロナ対応により地域貢献したことを高く評価	A コロナ病棟を地域に提供したことを高く評価	A コロナ禍において、維持・向上したという点を高く評価
⑤生涯教育の充実	C	C 実績が下がっている	C やむを得ない面はあるが、実績が下がっている	C PRの機会、手段の確保のため、中止に伴う代替措置を検討すべき	C 呼吸器内科の医師から開業医にアドバイスを送る場などを期待したい	B 開催中止はやむを得ない

項目	仮評価	土岐会長	阪上副会長	相原委員	大江委員	谷田委員
(3) 患者サービスの向上						
①職員への意識啓発	B	B 実績を維持できており、問題ない	C 頑張っているが、実績が上がっていない	B 実績を維持できており、問題ない	B 実績を維持できており、問題ない	B コロナ禍では研修・接遇の優先度は低く、実績に問題はない
②情報発信の強化	B	B メーリングリストでの情報発信は良い取組である	B 一定の取組が認められる	A アクセス数の急増を活かし、積極的な情報発信に努められたい	B 問題なく実施できている	B アクセス数の急増を活かし、トップページの充実を図られたい
③療養環境の改善	B	B 問題なく実施できている	B 問題なく実施できている	B 問題なく実施できている	B 問題なく実施できている	B 問題なく実施できている
(4) 危機管理体制の充実						
①災害時医療への対応	C	C コロナ禍であっても災害への備えは重要である	C BCPの整備や病院機能評価受審を念頭に、しっかり対応されたい	C 災害はコロナ禍でも発生するので、代替措置を検討すべき	C 災害はコロナ禍でも発生するので、代替措置を検討すべき	B 毎年実施している訓練であれば1回中止したこと自体には大きな影響ない
(5) 職員の意識改革と組織変革						
①職員のアクティビティとモチベーションの向上	C	C コロナ禍で病院全体のアクティビティは下がっていると評価せざるを得ない	B 医師の出退勤の時間をチェックするなど、勤怠管理の充実を図られたい	B 働き方改革の取組が定着したのであればよいことである	A ゲッジョブサクスカード投票数の大幅な増を高く評価	B 問題なく実施できている
②組織の活性化	B	B 問題なく実施できている	B 問題なく実施できている	B 問題なく実施できている	B 問題なく実施できている	B 問題なく実施できている

●経営の健全化に向けた取組

項目	仮評価	土岐会長	阪上副会長	相原委員	大江委員	谷田委員
(1) 病床稼働率の向上						
①地域の医療機関などとの連携強化による医療機能の利用促進	C	C やむを得ない面もあるが、数字を見ると厳しい評価にせざるを得ない	C やむを得ない面もあるが、数字を見ると厳しい評価にせざるを得ない	B 診療所訪問の代替策としてオンラインでの実施など、試行錯誤されたい	B 実績が下がっているが、やむを得ない	B 実績が下がっているが、やむを得ない
②地域包括ケア病棟の利用促進	-	- 当初の趣旨と実態が乖離しており、評価不能	- 当初の趣旨と実態が乖離しており、評価不能	- 当初の趣旨と実態が乖離しており、評価不能	A コロナ病棟として社会的に重要な役割を担ったことを高く評価する	B 実績が下がっているが、やむを得ない
③緩和ケア病床の利用促進	B	B 実績を維持できている	C 緩和ケアの実績が少ない	B 結果的に稼働率が向上している	C 体制的に非効率であり、緩和ケアをやめることも検討すべきではないか	B 実績を維持できている
④病床稼働率確保に向けた体制の整備	B	B 数字的には一定の実績を維持できている	B コロナ対応もある中、一般病棟では一定の実績を確保できている	B 数字的には一定の実績を維持できている	B 逆境の中頑張っている	B 実績が下がっているが、やむを得ない
(2) 診療単価の増加						
①適切な診療報酬の確保	B	B コロナの影響で単価が上がるのは一般的な動きである	B コロナの影響で単価が上がるのは一般的な動きである	B 数字的に問題ない	B 数字的に問題ない	B 数字的に問題ない
(3) 費用の適正化						
①診療材料費の適正化	B	B 数字は下がっているが、取組の効果は出ている	B 材料費がやや高い印象だが問題ない	B 数字は下がっているが、取組の効果は出ている	B 数字は下がっているが、取組の効果は出ている	B 数字は下がっているが、取組の効果は出ている
②後発医薬品の積極的な利用	B	B 問題なく実施できている	B 問題なく実施できている	B 取組の効果が出ている	B 問題なく実施できている	B 問題なく実施できている
③職員給与費対医業収益比率の改善	C	C 元々の状況が悪いので、評価は低くせざるを得ない	C 数字を見ると厳しい評価にせざるを得ない	B 数字的には厳しいが、給与の引下などの取組も実施しており評価は難しい	B 給与費自体は減少しており問題ない	B 給与費対経常収益比率で大幅な改善が見られる